

介護工学研究会 平成19年度 活動報告

定例会

基本的に毎月第1木曜日 19:00-21:00 まちづくり協働オフィスで行っている。

参加者(メンバー)は、福祉関連に興味ある方なら誰でも参加可能。

TV会議システムで四国中央市のメンバーとも交信している。

基本的には情報交換会であるが、メンバーや外部機関が開発したものについての多彩なメンバーによる多様な視点からの意見交換などを行っている。

第132回 平成19年5月10日(木) バリアフリー2007の研修報告会

第136回 平成20年1月10日(木) 「晴れた日ばかりじゃないけれど」～地域で生きる、一人で暮らす～の上映。
「障害があることを素直に受け止めて、積極的に外にでて、人と接して、パートナーをつくり、生きていく姿に感動!」「福祉機器については、機能だけでなく、使う側のことや、受ける側のことを良く考えて使わないといけないことがわかった」「健常者は、自分が恵まれていることをありがたいと感じて、有意義な人生・生活を送ることが大切だと気づかされた」「介護する側、受ける側、介護機器メーカーなどでの勉強会に有意義な内容」などでした。

DVDをご覧になられたい方は、介護工学研究会またはNPO法人 新居浜いきいき工房に御連絡ください。

第141回 平成20年3月6日(木) NPO法人 今人倶楽部より「いろいろな機能不全を持った方たちがパン作りをしていく上で、あったら便利だな」と思う自助具6つのテーマについて相談。

福祉機器改善相談事業

いろいろなところから依頼を受けて出張「福祉用具相談コーナー」を開設しています。

(介護工学研究会、NPO新居浜いきいき工房共催)

- ・第12回生き生き幸せフェスティバル 平成19年9月30日 新居浜市総合福祉センター(ふれあいプラザ)
- ・平成18年度 社協「福祉機器修理改善相談コーナー」
平成19年4月19日(木)、5月17日(木)、6月21日(木)、7月19日(木)、8月9日(木)、9月20日(木)、
10月18日(木)、11月15日(木)、12月20日(木)、平成20年1月17日(木)、2月21日(木)、3月20日(木)

研修

バリアフリー2007研修会 平成19年4月14日(土) インテックス大阪

参加者それぞれが目的を持って研修に参加し、以下のような成果を持ち帰って、メンバーで共有した。

- ・例えば、家のお風呂を介護用に改装する場合、介護される人とそうでない人両方の人が使えなくてはならない。また利用者の介護重要度が変化することもある。よって様々なADLに応じることのできるユニバーサルデザインに近い浴槽が必要となる。私の今までの考えでは完全なユニバーサルデザインは無理だから利用者の事を考えれば、当然個々の利用状況に特化したデザインが使いやすいと考えていたが、この話を聞いたことでユニバーサルデザインの必要性が理解できた。
- ・介護は高齢者の動きを全て助けるのではなく、困難な動きだけ助けることが重要である。
- ・ひのきや木目などの自然なデザインは使用者を和ませる。
- ・操作は簡単なボタン式など単純操作の方が高齢者にはわかり易い。
- ・各会社によってターゲットを絞った設計をしたり、誰でも利用できる設計をしたりしていて、考えはそれぞれ違っていた。株式会社メトスの浴槽を体験したが、確かに操作面でも機能面でもわかりやすく便利だった。また、困難な動きだけを道具で助けることにより、利用者の残存能力をひきだす生活リハビリにもなるよう造られていた。利用者をつたえただけでなく、利用者自身のことを考えた助け方を考えて設計しなければいけないことがわかった。
- ・自分が介護される側の人間となったとき、どのような介護なら受けたいか、また、自分が介護する立場ならどのような機能が必要かを考えてつくるのが大切だと思った。
- ・介護機器の色にまでこだわっていたのが、介護を受ける人の目線にたっているのだなと感じ、印象に残った。